

公益社団法人 東京都臨床検査技師会 平成 25 年度 第 6 回理事会議事録

日 時：平成 25 年 10 月 16 日（水）19 時 00 分～21 時 00 分

場 所：都臨技事務所

出席者：下田，千葉，宮崎，高城，中西，原田，井上，鈴木，工藤，土橋，星野，大野，蝶名林，杉岡，三橋
佐藤，多田，松村，小山，東海林監事，立花監事，佐野役員選出委員

1. 理事行動報告

8 月 21 日（水）	選挙管理委員会	鈴木
9 月 9 日（火）	支部会	杉岡，原田，多田，三橋，蝶名林，小山，松村，佐藤
9 月 17 日（月）	学術部会	高城，中西，蝶名林，大野
9 月 27 日（金）	編集委員会	蝶名林
10 月 7 日（月）	会計部	鈴木，土橋
10 月 7 日（月）	表彰選考委員会	工藤，千葉，小松
10 月 8 日（火）	学会実行委員会	下田，宮崎，高城，中西，原田，井上，鈴木，工藤，土橋，星野 大野，蝶名林，杉岡，三橋，佐藤，多田，松村，小山
10 月 9 日（水）	STI 委員会	原田

2. 報告事項

(1) 平成 25 年度第 5 回理事会 の議事録内容確認

(2) 各部局報告

○支部

【報告事項】

<部長報告>

①首都圏学会について

今回は時期的に支部での健康まつりと日程が重なってしまっているため，支部からの幹事参加者が少なく健康博の運用に支障が出てしまう可能性がある．一般会員の参加要請が必要．

②来年度予算案について

今回は支部制が敷かれる初の予算化であるため，ひな形を会計部が作成して頂ける．但し，期日が短くなるため学術の研修会の件を含め調整はしておく事とした．

③施設連絡者会議開催に関して

社会保険中央病院にて 2 月に行うよう場所の調整と会長の日程調整が必要．

内容は支部化への動向を施設連絡者にも知って頂ける方向で調整中である．

<各地区報告>

①東部地区

江戸川区民まつり 10 月 13 日（日） 血管年齢 東京都立篠崎公園

江東区民まつり 10 月 20 日（日） 血管年齢 東京都立木場公園

②西部地区

例年同様 BBQ 開催予定．今回は南部地区と合同で南支部として開催する．

③南部地区

・南支部研修会に関して

日時：平成 25 年 11 月 19 日（火 19:00～21:00 東京慈恵会医科大学附属病院 大学 1 号館 5 階

内容：色々な検査から発見！乳腺病変について（仮題）

司会：工藤 岳秀（東邦大学医療センター大森病院）

講師：金子 武之（超音波），放射線技師（マンモグラフィー）

・大田健康まつり 10月27日 尿定性検査, 血管年齢, 乳がん触診

④北部地区

いたばし健康まつり 2013 12月11日(金) 血管年齢 板橋区グリーンホール

⑤中部地区

大新宿区まつり 10月20日(日) 血糖測定, 乳がん触診モデル体験 都立戸山公園

⑥多摩地区

稲城健康まつり 10月14日(月) 骨密度 稲城市総合体育館

小平まつり 10月20日(日) 血管年齢 小平あかしあ通り

稲城Iまつり 10月26~27日(土~日) 骨密度 稲城市総合体育館

⑦フォーラム委員会

・第13回都臨技フォーラムについて

日時:平成26年1月18日(土), 15:00~18:30 (株)堀場製作所 東京セールスオフィス

テーマ:『これが聞きたい!!チーム医療~救急医療!求められる臨床検査技師の役割と可能性~』

講師:1) 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 臨床検査部 部長 大塚喜人 技師

2) 日本医科大学附属病院 中央検査部 柴田泰史 技師

3) 日本医科大学附属病院 高度救命救急センター 講師 新井正徳 先生

○学術部

会議冒頭に, 以下の2点についてアナウンスされた。

①放射線技師会誌担当者より挨拶

この度, 放射線技師会誌に臨床検査についての記事を掲載することとなったため, 担当者が来訪されて挨拶があった。

②今後の都臨技の運営体制について

下田会長より今後の都臨技の運営体制について説明があり, 終了後に質問があった。

・来年3月で現在の研究班幹事の任期が切れる。今後は支部ごとに研究班幹事を置いてということを考えているようだが, 次期研究班幹事の選出に考慮した方がよいのか。

→ 考慮していただけるとありがたいが, 現在既に打診済みの方々を入れ替えてまで選出する必要はないと考えている。これから新たに選考するときを考慮していただきたい。また, 少ない支部の方を入れるのもひとつだと思う。これにより一時的に幹事が規定数よりも増えてしまうことがあるかもしれないが, それはありだと思う。徐々にバランスが取れていけばいいのではないかと。

・要望として協賛について研究班が理事会に上げて承認という現在の流れを逆(理事会が提示→研究班へおろす)という形にしてもらいたい。

→ 年間を通して技師会としてスキルアップできるような会としてのプランを考えられたらよい。

・研究班員は支部ごとに必ず2名ずつ選出するのか。

→ある支部では3人いるという状態も当面はありだと思う。現在は支部ごとにアンバランスになっている研究班もあると思うので, 徐々にバランスが取れていけばよいのではないかと。また, 抜けた支部の人を次に必ず補充するというのも理想論ではあるが, 100%は無理なのではないかと。

最後に会長より以下の発言があった。

・研修会については開催場所をちりばめて行うことや, 土日に開催していただけるとありがたい。

・今後の都臨技の運営体制についての質問は9/25に開催する都臨技運営体制説明会の時や, 部長経由でお受けする。必要があれば研究班の幹事会などに出向いて説明することも可能である。

【報告事項】

1) 前回議事録確認

上記を実施した。

これに関連し, 都臨技HP内の各研究班のHPについて, 今後使わない予定である研究班があるか聞いてみたがなかった。現在使用していない研究班については有効活用するようにとの学術部長からの指示があった。

2) 理事会報告

今月は9/18開催予定であり、役員行動費・講師料等の改定について審議される予定。
9/25に新しい都臨技の運営体制についての説明会を開催予定。

3) 編集委員会報告

次号の特集は情報研究班。シリーズは薬剤師。施設紹介は城東社会保険病院。

2月号の特集は一般研究班でシリーズは管理栄養士。施設紹介は関東中央病院の予定。

蝶名林学術次長より、施設紹介では小規模（技師2～3名等）のところに行ってみたいので紹介していただきたい。との話があった。

4) 精度管理委員会報告

日臨技が実施している施設認証制度について、認証率を上げるためのアンケートを実施予定。

対象は都臨技サーベイの参加施設で、10/22に発送予定。現在、都臨技サーベイは生化学と血液のみ実施しているが、アイデアや今後分野の拡大などがあればご協力をお願いしたい。

5) 生涯教育委員会報告 7月分 研修会 10件、自己申告 11名

8月分 研修会 3件、自己申告 15名

6) 学会関係

①第2回日臨技首都圏支部学会

抄録集：最終稿が終了し、現在印刷中。次回の実行委員会は10/8（火）19：00～ 都臨技事務所にて

②第10回東京都医学検査学会

日程：2014年10月16日（日）

会場：日本教育会館見込み（最終決定は理事会承認後）

7) 研修会での都臨技のみ会員の受付について確認を行った。

①日臨技会員で他県技師会会員であるが、都臨技会員にもなっているケース。

両方の会員証を確認する。

②都臨技会員ではあるが、日臨技会員ではないケース

生涯教育研修制度は日臨技会員に対する制度のため登録できない。

【討議事項】

1) 研修会出席登録について会員からの問い合わせへの対応

①9/12に都臨技へ以下の「ご意見・ご要望」があった。

「9/4の輸血研修会および9/5の精度保証研修会に参加いたしましたが、生涯教育履修歴が更新されて
おりません。」

これに関して事務局より研修会后、どのくらいの期間で登録可能なのかHP上に掲載したいとのことだった。
以下の討議が行われた。

- ・現在研修会后に何日で生涯教育の登録を行うという規定はない。
- ・研修会の参加登録は都臨技のみの会員証でも受付が可能である。このため、日臨技と会員番号が違う場合には登録されずにエラーになってしまう。このため、問い合わせを行うこともあり、煩雑。
- ・年度途中で移動した場合は都臨技の会員証は発行されない。
- ・班長が行う生涯教育の登録は自施設で行う場合や、自宅で行えない場合もあるなど、個人のネット環境に依存する部分も多い。
- ・パスワードを渡して各自登録してもらう方法もあるが、パスワードがわかれば登録可能という欠点がある。

以上より

HPには研修会開催後1ヶ月以内には登録します。と掲載してもらい、実際には研修会終了後1週間以内に登録してもらえるように努力してほしい。ということで意見がまとまった。

追加で高城学術部長より

年度を越えると生涯教育の登録ができなくなるので、年度内に登録を済ませてほしい。との話があった。

【その他】

共催の研修会を企画していたが、共催予定の業者より開催予定日の都合が悪くなってしまったとの連絡が入った。
このような場合、共催の研修会を次回に回すことは可能かとの質問があり、高城学術部長が可能であると回答した。

○庶務部

【報告事項】

- ・現在の会員数及び賛助会員数の報告（平成 25 年 9 月 30 日現在）
会員数 4,473 名
平成 25 年度賛助会員数 71 社

○会計部

【報告事項】

- 平成 25 年度 9 月の予算管理月報，他 3 表を作成し報告。
- ・ 9 月 30 日現在の会費収入状況報告
- ・ 9 月のおもな事業活動収支について
収入：日臨技健康展委託補助費用
支出：標準化事業振込用紙発送費用，代議員選挙公示送付費用，通信運搬費，管理費
- ・ 代議員選挙費用を 2 年ごとに計上することを引き継ぐ。

○事務局

【活動報告】

<9 月～10 月の主な活動>

- ・ 運営説明会準備，運営（出席者把握，行動費準備，資料印刷，当日の運営）
- ・ 前期会計簿の提出依頼の発送
- ・ 第 2 回日臨技首都圏支部医学検査学会の委嘱状発送（学術部 83 件，旧組織部 32 件）
- ・ 旧組織部の地区まつりの委嘱状発送
（江戸川区民まつり 9 件，江東区民まつり 12 件，大新宿区まつり 15 件，稲城市健康まつり 5 件
小平市民まつり 8 件，稲城 I まつり 5 件）
- ・ 平成 25 年度データ標準化参加施設へ振込用紙（請求書）郵送（214 件）
- ・ 平成 25 年度の法人登記

<その他>

- ・ 中間監査について
日時：平成 25 年 11 月 12 日（火） 18:30～ 都臨技事務所にて
- ・ 11 月理事会について
下田会長の出張に伴い，慣例と異なり以下の日程で行うこととする。
日時：平成 25 年 11 月 13 日（水） 19:00～ 都臨技事務所にて

（3）各委員会報告

○編集委員会

【報告事項】

1) 平成 25 年 11 月号入稿

- ・ 特集：情報システム→原稿，あとがき，表紙も入稿済み。
- ・ シリーズ：「他職種から検査技師に知っていて欲しい知識」薬剤師の立場から
株式会社アミカライフサイエンス 小川勝利氏 → 8 月末に入稿済み。
- ・ 施設紹介：城東社会保険病院 → 入稿済み
- ・ 新春のつどい案内文を掲載予定 → 入稿済み

2) 都臨技学会優秀演題について

- ・ 3 演題とも入稿済み。
- ・ 11 月号に微生物と血液，2 月号に生理を掲載する。

3) 記録の書き方について

- ・ 大竹編集長より全員にフォーマットを送信された。今後はこのフォーマットで行う。

【検討事項】

- 1) 今後のシリーズについて
 - ・2月号は栄養士の予定.
 - ・5月以降は臨床工学士（社保中検討中）、視能訓練士、日赤（日赤の苦労話）などの意見が出された.
- 2) 次年度会誌の色について
 - ・今回の編集委員会に永間氏より、色見本を持ってきていただく予定だったが11月の編集委員会に変更となった。表紙レイアウトについて、タイトル・色などの草案を検討・作成し、次回の理事会で審議する予定である。

○生涯教育制度実行委員会

【報告事項】

- ・生涯教育対象行事（9月）
都臨技研修会 17件 登録者数 978名
- ・申告 会場研修 6件 登録者数 18名

○選挙管理委員会

【報告事項】

- 1) 代議員選挙の公示文書案の検討
代議員選挙の公示文書に関連して、選挙管理委員会で考案した公示文書の訂正・変更・確認を行った。
公示については、9月1日（日）と変更はなくHPおよび会員へ立候補届と同封し発送する。
訂正点
 - ・選挙人について、9月1日現在の会員台帳登録者に変更。
 - ・被選挙人について、9月1日現在の会員台帳登録者に変更。また、候補者になることができない者として現在の理事及び監事とした。
 - ・選挙区および代議員定数について、定款第47条・代議員選挙規定9条・同規定11条第2項に訂正。また、選挙区（支部）の割振り・支部長名・代議員定数等を表にして記載することとした。
 - ・代議員立候補者について、役職等の記載をその他（役職・推薦者名簿）と変更。また、届け先を所属支部長へと訂正した。
 - ・代議員の選挙について、各支部から推薦された代議員候補者の記載を削除。また、名簿・投票用紙の発送を平成25年12月末日までと変更した。投票締切日を平成26年1月20日（月）とした。
 - ・開票、代議員および代議員補欠者の決定について、1)の開票期間を平成26年2月1日（土）～2月28日（金）とした。2)の代議員選挙規則の記載を削除し、信任票の記載を投票数へと変更した。3)の信任票を投票数に変更、代議員および代議員候補者の投票数が同数の場合は以下の記載を原案より選挙管理委員過半数以上の投票により決定すると訂正した。
 - ・代議員の公示について、平成26年4月1日と訂正した。
- 2) 代議員立候補届の検討
前回の代議員選挙で使用された届出用紙をもとに変更と確認を行った。
法人名を公益社団法人と変更し、所属支部長名を記載する欄を追加。会員歴・活動歴の社団法人の記載を削除。立候補資格を平成25年9月1日現在会員へと変更。締切日を平成25年10月31日（金）都臨技事務所消印有効と変更した。また、立候補届は公示文書と同封し発送することとした。
- 3) 代議員関連の文書・投票用紙発送の検討
選挙関連の文書・投票用紙の発送、会員からの投票用紙の発送に関して新たに代議員選挙専用の発送・返信用封筒を作成することを決定した。また、封筒のレイアウト・見積もり等は次回検討していくこととした。

○表彰選考委員会

【報告事項】

- 1) 小島三郎記念技術賞・福見秀雄賞について
小島三郎記念技術賞は東京女子医科大学病院の横山 貴氏、福見秀雄賞は文京学院大学保健医療学部の

下村 弘治氏を推薦候補とし、推薦手続きの準備を進めることとする。例年、12月ころに推薦依頼が届くので推薦依頼書が届き次第書類作成し手続きを行う予定。

次年度以降の候補者として佐野 和三氏(駿河台日本大学病院)と司茂 幸英氏(杏林大学医学部)を候補者として継続検討することとした。

2) 叙勲・褒章推薦の進捗状況について

叙勲推薦候補者の岩田 進氏について検討を行い精査の結果、経歴等でI類の推薦対象とならないと判断し推薦候補対象外とした。

3) 過去における各賞受賞者の名簿の整理について

現在、各賞受賞者の名簿作成の進捗状況確認中

【検討事項】

1) 平成25年度各賞についての検討

これから推薦依頼書が届く各賞に関しては表彰選考委員会で検討し、早急に候補者を選出する。次年度の緒方富雄賞の候補者として、石井 清氏(順天堂大学医学部附属練馬病院)が挙がり技師会経歴等を調査し対象者となるか検討する。

日臨技学術奨励賞(優秀論文賞・優秀演題賞)について日臨技会誌の原著論文等(H25.1~H25.12)を調べて該当論文及び演題があるか早めに検討する事とした。

2) 永年会員に関して

永年会員表彰対象者リストについて再度見直しを図り調整する。なお、永年会員表彰者への記念品贈呈については、理事会で承認を得た旨報告があった。

3) 過去における各賞受賞者の名簿の整理について

都臨技や日臨技の各表彰受賞者について過去の会員経歴など現在整理中である。

4) 表彰選考委員会のホームページなどでの公開内容について

現在、継続検討中である。

5) 表彰選考委員会規定の見直しについて

永年会員資格など、次期表彰選考委員会で改定検討することを申し送り事項とする。

○STI委員会

【検討事項】

①首都圏学会

日時：平成25年10月26日(土) 会場：首都圏学会検査健康展フロア

ブース：180cm程度の長机2つ分(横並び)

背面にポスター等を貼り付けられるパネルが設置される。

内容：その1 STI 予防啓発活動の紹介(展示) A2サイズのポスターを4枚作成

1) 予防教室の紹介 2) 公開講演、街頭活動の紹介 3) STIの現状 4) 予防教室アンケート結果
簡単なテキスト、写真、グラフ(リーフレット原案・学会発表スライドから引用)を使って作成
予算は1万円程度、担当は上前泊委員。

その2 オリジナル絆創膏、 Condom、リーフレットの配布

昨年度の街頭配布で使用したものと同じものを発注。金額は112,350円。

②池袋エイズフェス2013

日時：平成25年11月30日(土) 10:00~15:00

会場：中池袋公園 池袋駅東口徒歩5分(豊島保健所前)

主催：池袋ふぉーてぃー

ブース：250×250cmのテント(長机・イスあり)

内容：その1 ; クイズ(担当 松田・神田)、その2 ; 玉入れゲーム(佐藤美里)

来場者に簡単なクイズ(選択式4~5問程度)を答えてもらい、正解数に応じてボールを渡す。

キャラクターパネル(あうる君)に穴を空けたものにボール入れゲームをしてもらい、点数に応じて景品をプレゼントする。クイズについては、A4紙の表に設問、裏にSTIの知識や予防方法などをプリントし、来場者が持ち帰れる形にすることで予防啓発に役立てる。

景品：コンドーム，絆創膏，お菓子（既に包装されたもの，主催者に可否を確認）

予算：行動費 3,000 円×人数分+ゲーム備品作成費用

なお，主催者よりブース参加団体に対して 3 万円の補助あり．企画にかかる金額は 2 万円程度．

③新リーフレットの作成

テキストやグラフなどを見直し，変更した．

④首都圏学会スライドの検討

発表スライド（作成：板橋）の修正点等について検討した．

3. 審議事項

○庶務部

・新入会 35 名が提示され審議の結果，承認された．

4. 共催許可願い書について

○西支部より共催許可願い書が提出され，審議の結果，承認された．

講演名：血液ガス分析の基礎

期 日：平成 25 年 11 月 26 日（火）19:00～20:30

会 場：三多摩労働会館 3 階 大会議室

講 師：横山 稔 氏（シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社）

5. 後援および名義使用許可願い書について

○特定非営利活動法人 超音波スクリーニングネットワークより後援およびホームページへの掲載依頼書が 1 件提出され，承認された

名 称：超音波スクリーニング研修講演会 2013 有明

期 日：平成 25 年 12 月 14 日（土） 9:25～17:00

会 場：TOC 有明コンベンションホール WEST GOLD 20

○第 3 回日本小児診療多職種研究会より後援依頼書が 1 件提出され，承認された

名 称：第 3 回日本小児診療多職種研究会

期 日：平成 26 年 6 月 21 日（土）～6 月 22 日（日）


会 場：大田区民ホールアブリコ，大田区産業プラザ P I O

平成 25 年 10 月 16 日（水）
公益社団法人東京都臨床検査技師会

議長
(下田)

下田 勝二 

監事
(東海林)

東海林 治三郎 

監事
(立花)

立花 勇一 